

こすもす文庫（別冊）

# 中小企業経営者のための ホームページのすすめ

高張情報技術士事務所

高張 邦夫



## \* もくじ \*

ホームページの誕生 .....	4
ホームページの歴史 .....	4
ビジネスでのホームページの利用 .....	6
ホームページの開設に必要な作業 .....	9
レンタルサーバとは .....	11
自社専用ドメインとは .....	12
レンタルサーバの料金 .....	12
問合せや商品販売時の個人情報の保護 .....	13
個人情報保護方針 .....	13
情報主体から直接収集する場合の措置 ...	14
プライバシーマーク .....	15
TRUSTe .....	16
ホームページ上での商品販売 .....	17
特定商取引法に基づく表示 .....	19
オンラインマーク .....	20
費用を抑えたホームページの開設・維持 ...	21
ホームページの閲覧者を増やすには .....	23
ホームページお手軽更新君とは .....	25

## ホームページの誕生

現在の形のホームページが誕生してから、10 数年が経過した。その間に、インターネットの利用人口は、爆発的に増加した。利用人口の爆発的増加は、インターネットの開放による商用利用と、ホームページの誕生によるところが大きい。

ホームページは、人々に膨大な情報を提供する。インターネットを利用する人とならない人の間に、情報格差が生まれつつある。

## ホームページの歴史

1969 年 冷戦時代の米国防総省高等研究開発局が、敵の攻撃に備える目的で、米国内に分散するコンピュータを ARPANET で接続した。このネットワークは、現在のインターネットの原型であり、通信経路の一つが破壊されても、別の経路で通信できることを目指した。

1973 年 ARPANET が、海外のコンピュータとの接続を開始した。

- 1986 年 学術利用環境の向上のため、全米科学財団が後のインターネットの中心となる NSFNET を開始した。
- 1987 年 UUNET が世界初の商用接続サービスを開始した。
- 1989 年 日本のコンピュータが NSFNET に接続された。
- 1991 年 文字ベースであるが、ブラウザにより、インターネットに接続されているコンピュータの情報を、簡単に収集できるようになった。
- 1993 年 米国のイリノイ大学の学生が、現在のブラウザのベースとなる、文字と画像の表示ができるブラウザを開発した。これ以降、インターネットの利用者が爆発的に増加した。

## ビジネスでのホームページの利用

ホームページは、ビジネスにおいて非常に有効なツールである。それにもかかわらず、ホームページを持たない中小企業は多い。

ホームページを持たなくても商売はできる、だからホームページは要らない、と言う中小企業の経営者がいる。しかし、それは自分の勉強不足を自ら述べているに過ぎないのではないか。宣伝に費用がかけられない中小企業であるからこそ、ホームページの有効活用を考えるべきである。

ホームページが誕生して数年の間、ホームページを開設して維持するには、かなりの技術力が要求された。そのために、費用がかかった。しかし、デザインを気にしないのであれば、今はホームページ作成ソフトのおかげで、勉強すればホームページを作ることができるようになる。

そして、さらによいことに、レンタルサーバの料金が安くなり、自社専用ドメイン(アドレス)を持つホームページの開設が、手の届くところに来た。ホームペ

ージ開設のための環境は、充分整っている。

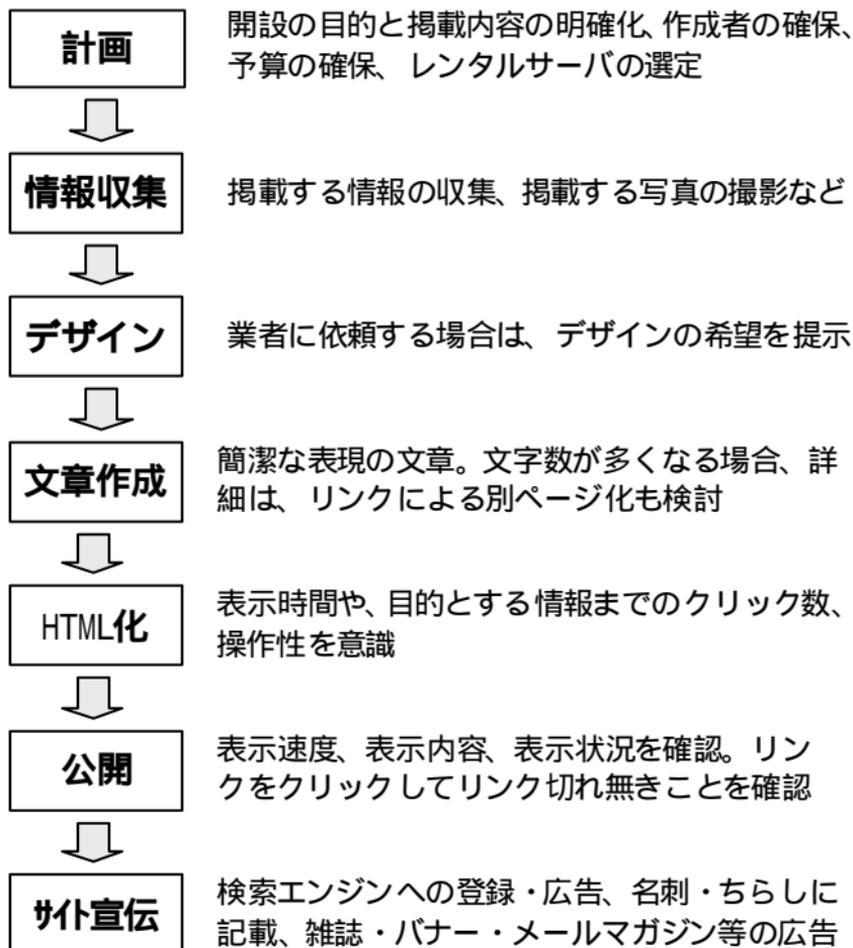
ホームページでの通販が、実店舗での売上げを越えた、技術力のある中小企業が、ホームページで自社技術を宣伝したら売上げが伸びた、という話はよく聞く。もちろん、ホームページを持つだけで売上げを伸ばせるわけではない。ホームページにも創意工夫が必要である。しかし、創意工夫で売上げを伸ばせるのなら、ホームページの有効利用を考えたい。

何の主張も無く、会社紹介だけに終わっているホームページをよく見かける。更新されているのかどうか、わからないホームページも多い。もったいないことである。このようなホームページの所有者は、閲覧者の数を正確に把握していないと思われる。閲覧者が少ないとわかっているなら、何も手を加えないまま放置するはずがない。放置されたホームページの多くは、検索エンジンの上位に表示されないため、持っただけでもあまり役に立たない。維持費用がかかっているなら、ホームページを閉鎖するのも、ひとつの選択である。

会社への地図すら載っていないホームページがある。他社との優位性がまったく感じられないホームページ

がある。あってもなくてもどうでもよいホームページがある。このようなホームページを持つ中小企業の経営者は、ホームページについてしっかり勉強すべきである。そうしないと、近い将来、閲覧者が多いホームページを持つ同業他社に、引き離されてしまうことになるであろう。

## ホームページの開設に必要な作業



ホームページの開設のために、やらなければならない作業は少なくない。ホームページ作成業者の主導ではなく、自らが主導して、作業を進めたい。それには、ホームページについての知識が要求される。書籍で勉強するのが早い。勉強して、自分でできることは自分でやり、業者に依頼するのは、デザインやHTML化、サイト宣伝に必要な作業の一部にとどめたい。

一番の問題は、業者の選択である。検索すれば、多くのホームページ作成業者が表示される。個人から大手の会社まであり、かかる費用の幅は大きい。費用を抑えたいのであれば、個人または少人数の会社に依頼することになる。この場合、情報量にもよるが、1ページあたり1~2万円平均といったところが目安であろう。1ページ5千円というところもあるが、あまりにも安いと、納得するものができるかどうか。既にホームページを持っている知人に、業者を紹介してもらおうという手もある。

デザインは、ホームページを作る人のセンスに依存するため、その人が過去に作ったホームページを見て、自分の好みかどうか確認して、判断するとよい。

## レンタルサーバとは

ホームページや電子メールのアドレスに自社専用のドメイン（xxx.com、xxx.jp など）を使うことができ、それらに必要な機能とディスクスペースを提供する有料のサーバを、レンタルサーバと言う。

中小から大手企業まで、レンタルサーバを提供している企業は多い。自社専用のドメインは使えないが、無料で利用できるサーバもある。

レンタルサーバに求められるのは、安全性・可用性と機能・性能である。セキュリティや障害発生時の復旧能力、サーバの機能・性能、ディスク容量に対して料金を支払うことになる。大手にもかかわらず料金が安い場合は、機能・性能が気にかかる。表示するのに何秒もかかるホームページは、閲覧者にストレスを与える。中小の場合は、障害発生頻度や障害復旧時間など、安全性・可用性が気にかかる。

レンタルサーバを借りている知人に聞くとか、ホームページの検索で評判をチェックするなどして、料金を加味した上で、レンタルサーバを決定するとよい。

## 自社専用ドメインとは

<http://www.hphelper.com/> のように、<http://> に続く部分が、プロバイダのものではなく、自社名等を含んでいるものを言う。ビジネス目的のホームページは、プロバイダの間借りとわかるドメインではなく、レンタルサーバ利用による自社専用ドメインとしたい。ドメインのことを、わかりやすい表現で、アドレスと呼ぶこともある。

## レンタルサーバの料金

月あたり数百円～数千円と幅が広い。小規模企業が運営しているサーバが安い。一般に、大手のサーバは安全性・可用性が高いが、料金も高い。

大手で料金が安い場合、機能が少ない、ページ表示に時間がかかるなど、安全性・可用性とは別の問題が存在することがある。

レンタルサーバがダウンすると業務が成り立たない場合は、大手のレンタルサーバを利用すべきであるが、そうでない場合は、料金が安いレンタルサーバを選択する余地がある。ただし、評判を確かめる必要はある。

## 問合せや商品販売時の個人情報の保護

ホームページも信用第一である。取引先や顧客の信用を得る手段のひとつに、個人情報の保護がある。商品を販売するためには、購入者の個人情報が必要である。各種問合せにも、個人情報の提供を求められることが多い。勧誘の電話やダイレクトメールには、多くの人が迷惑しているため、ビジネス用のホームページでは、個人情報保護の表示は必須であろう。

JIS で定められている個人情報保護方針や、個人情報収集時に提示する情報が、ホームページに適切に表示されていれば、さらによい。

収集した個人情報の改ざんや漏洩等を防ぐためにも、経営者にとって、個人情報保護についての勉強は、必須と言えよう。

### 個人情報保護方針 (JIS Q 15001 4.2)

事業者の代表者は、次の事項を含む個人情報保護方針を定めるとともに、これを実行し維持しなくてはならない。事業者の代表者は、この方針を文書化し、役員

及び従業員に周知させるとともに一般の人が入手可能な措置を講じなくてはならない。

- a) 事業の内容及び規模を考慮した適切な個人情報の収集、利用及び提供に関すること。
- b) 個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏えいなどの予防並びに是正に関すること。
- c) 個人情報に関する法令及びその他の規範を遵守すること。
- d) コンプライアンス・プログラムの継続的改善に関すること。

情報主体から直接収集する場合の措置

( JIS Q 15001 4.4.2.4 )

情報主体から直接に個人情報を収集する場合には、情報主体に対して、少なくとも、次に示す事項又はそれと同等以上の内容の事項を書面もしくはこれに代わる方法によって通知し、情報主体の同意を得なければならない。

- a) 事業者の内部の個人情報に関する管理者又はその

代理人の氏名もしくは職名、及び所属並びに連絡先。

- b) 収集目的
- c) 個人情報の提供を行うことが予定される場合には、その目的、当該情報の受領者又は受領者の組織の種類、属性及び個人情報の取扱いに関する契約の有無。
- d) 個人情報の預託を行うことが予定される場合には、その旨。
- e) 情報主体が個人情報を与えることの任意性及び当該情報を与えなかった場合に情報主体に生じる結果。
- f) 個人情報の開示を求める権利、及び開示の結果、当該情報が誤っている場合に訂正又は削除を要求する権利の存在、並びに当該権利を行使するための具体的な方法。

参考) 同意の確認は、ホームページに表示される同意ボタンのクリックでよいとの見解がある。

## プライバシーマーク

個人情報を保護する企業を示す信頼のマーク。個人情報の取扱いに関して、JIS Q 15001 に適合した措置を講じていると認められた企業に対して付与される。

<http://privacymark.jp/>

(財)日本情報処理開発協会

## TRUSTe

アメリカで誕生した個人情報保護第三者認証プログラムであり、個人情報を扱う Web サイトが、利用者の信用度・信頼度を得ることを目的とする。TRUSTe には、複数の種類のシールが用意されている。プライバシーマークと異なり、希望すれば別料金でコンサルティングを受けることができる。

<http://www.truste-jp.org/> 日本技術者連盟

## ホームページ上での商品販売

ホームページで商品を販売しているサイト(ネットショップ)は、多数ある。購入したい商品をショッピングカートに入れ、購入者情報を入力して送信すれば、誰でも簡単に商品を手に入れることができる。

手に取って確かめることはできないが、手に入りやすい商品や実店舗より安い商品を簡単に入手できるため、利用者は多い。

商品販売のためのホームページは、商品販売に特有な機能が必要なため、情報発信だけのホームページと比べて、開設・維持に費用がかかる。

インターネットショッピングモールで有名な楽天市場(<http://www.rakuten.co.jp/>)は集客力があると言われているが、それなりの費用がかかる。利用者が多いため、同業他社も少なからずいるようである。

サイトサーバ(<http://www.estore.co.jp/>)は、ネットショップ機能を強化したレンタルサーバであり、ネットショップ機能がある分、月々の料金が割高になる。

ネットショップ機能があるソフトを購入して、レンタルサーバに設置する手もある。ただし、技術力がないと設置は難しい。

ネットショップを少しでも安く開設したいのであれば、ネットショップ機能のあるソフトを設置できるレンタルサーバ、またはオプションとしてネットショップ機能のうち販売機能だけを提供しているレンタルサーバを選択することになる。顧客管理機能や決済機能を持っているレンタルサーバは、当然割高になる。

ネットショップ開設での一番の課題は、何と言っても商材である。どこにでもあるような商品を、実店舗と同じ価格で販売しても、購入してもらえないはずがない。安売り合戦に陥らないためにも、特徴のある商材の品揃えが要求される。

ホームページの作りがいかにも貧弱であると、よい商品であっても売れない可能性が大きい。雰囲気の良い店に入る客がいないのは、ネットショップでも同じである。

顧客の信用を得るための手段も考える必要がある。法律で定められた情報の表示がない、手抜きや胡散臭

さを感じさせる、支払い方法が代金先払いのみ、というホームページでは、購入してもらえないはずがない。

ネットショップの開設を検討している人で、ネットショップでの商品購入を一度も経験していない人は、まずは経験することをお勧めする。客の立場を経験すれば、おのずから客の考えることがわかってくる。

#### 特定商取引法に基づく表示

ネットショップでは、以下の情報を、ホームページに表示する必要がある。

店舗名・ホームページのアドレス

販売業者

許可（業種により必須）

運営責任者

所在地

連絡先

販売価格

注文有効期限

注文方法

料金以外の費用

支払い方法  
商品発送方法  
商品発送時期  
返品・キャンセル  
販売条件

特定商取引法に基づく表示の無いネットショップをたまに見かける。法律の存在を知らないのだろうか。売れないから、ネットショップに手をかける気にならないのだろうか。消費者は賢いので、いずれにしても、このようなネットショップは淘汰されるに違いない。

## オンラインマーク

消費者がインターネット通販を利用する際、適正な販売業者かどうかを判断する目安としてもらうマークである。申請のあった販売業者のホームページに関して販売条件などが法律にそって記載されているか、誇大や不適切な広告表現がないかについて審査される。

<http://www.jadma.org/> (社)日本通信販売協会

## 費用を抑えたホームページの開設・維持

### (1) もっとも安く上げる方法

プロバイダが提供する無料ホームページスペースを利用し、ホームページは、ホームページ作成ソフトを購入して、自分で作成する。欠点は、作成者にもよるが、デザインや閲覧性が劣ること、ソフトの使用方法を覚える必要があること。ホームページのドメイン(アドレス)がプロバイダであるのも、好ましくない。パソコンで作ったホームページをプロバイダの提供するサーバに転送する際、ネットワークの設定が正しくなされている必要があるため、人によっては、これがネックとなる場合がある。

### (2) 有料でも安く上げる方法 - 1

無料でホームページの雛型を提供しているレンタルサーバを利用する。無料で雛型を提供しているレンタルサーバは、簡単にホームページを作成して更新できるツールも合わせて提供しているところがある。自社専用ドメイン(アドレス)を取得して利用で

きるレンタルサーバもある。欠点は、雛型のためデザインが画一的になること、必要なページが雛型に含まれていない場合があること。レンタルサーバとしては、例えば、一部の商工会議所が提供している「ほーむページ編集局」がある。

### (3) 有料でも安く上げる方法 - 2

雛型の利用による画一性を避けるために、ホームページの枠だけを業者に作ってもらい、枠の中の文章や画像を自分で埋める方法。枠の中を埋めるには、市販のホームページ作成ソフト、またはレンタルサーバ業者が提供する、簡単にホームページを更新できるツールを利用する。簡単にホームページを更新できるツールとして、筆者が開発した「ホームページ誰でも更新君」や「ホームページお手軽更新君」(<http://www.hphelper.com/>)がある。

ホームページお手軽更新君は、安くネットショップを立ち上げるために必要な機能の一部を含んでいる。レンタルサーバを利用するため、自社専用ドメイン(アドレス)を取得して利用できる。

## ホームページの閲覧者を増やすには

これは、ホームページ所有者の永遠の課題である。閲覧者にとって魅力のあるホームページにすることが基本である。

- (1) ホームページを検索エンジンやポータルサイトに登録する。Googleには、ブラウザから無料で登録できる。Yahooには、有料登録制度がある。業者に依頼して、検索エンジンやポータルサイトに登録する方法もある。
- (2) ホームページの作りを、検索エンジンに合わせる。検索エンジンに合わせて上位に表示されれば、見てもらえる確率が増える。検索エンジン対策を行うSEO(Search Engine Optimization)専門業者あり。筆者のホームページで、インターネット上に公開されているホームページの診断を行うことができる。

<http://www.hphelper.com/seodiag.html>

- (3) 名刺、カタログ、チラシ等にホームページのアドレスを記載する。
- (4) メールマガジンに広告を出す。有料が多いが、商品と関連するメールマガジンの場合は、効果あり。
- (5) ホームページへのリンクをお願いする。ホームページを持っている知人をお願いする無料リンク、ホームページ経由でサイトの登録をお願いする無料リンク、お互いのホームページから相手のホームページにリンクする相互リンク、有料のバナー広告、有料の Google アドワーズ広告、有料の Yahoo スポンサーサイトなどがある。

## ホームページお手軽更新君とは

ホームページを自ら更新したい中小企業経営者の要望に答えて開発されたソフトであり、マイクロソフト Word などのようなワープロ感覚で、ホームページを簡単に作成・更新できる。サーバに設置して利用するため、作成・更新したホームページをサーバに転送する必要が無い。複数のユーザにフォルダを割り当てて利用できる複数ユーザ版もある。指定レンタルサーバを利用すれば、お手軽更新君も合わせてレンタルできる。

## ホームページお手軽更新君のページ

<http://www.hphelper.com/otegararu.html>

説明だけでなく、ソフトを試使用することができる。

## 更新君利用料金のページ

<http://www.hphelper.com/charge.html>

買取りのケースとレンタルのケースあり。

お手軽更新君指定レンタルサーバ

道・楽サーバ <http://server.dou-raku.net/>

PSQ-NET <http://www.psq-net.com/>

どちらも、お手軽更新君に合わせたホームページ、  
またはホームページの枠を納得料金で提供している。

こすもす文庫（別冊）

中小企業経営者のための  
ホームページのすすめ

---

発行 2005年10月15日

\*

著者 高張情報技術士事務所

高張 邦夫

<http://www.takahari.com/>

\*